

# 金融サービスにおける AI の状況: 2025 年の傾向



## 目次

|                                     |           |
|-------------------------------------|-----------|
| <b>2025 年の金融サービスにおける主要 AI トレンド</b>  | <b>3</b>  |
| 戦略的インフラストラクチャと投資                    |           |
| 業界におけるインサイトと将来の展望                   |           |
| <b>戦略的なユース ケースの展開に向けた AI 活用の成熟度</b> | <b>4</b>  |
| AI と機械学習のワークロード                     |           |
| AI がビジネスオペレーションを改善する方法              |           |
| <b>生成 AI が業界の変革を推進</b>              | <b>6</b>  |
| 主な生成 AI ユース ケース                     |           |
| 金融サービスにおいていかに AI が成果を推進するか          |           |
| AI への投資                             |           |
| <b>減少する AI の課題</b>                  | <b>10</b> |
| エネルギー効率に優れたコンピューティング                |           |
| <b>今後の展望: AI の可能性と期待されるもの</b>       | <b>12</b> |

## 2025 年の金融サービスにおける主要 AI トренд

AI は、金融サービスに重要な新しい機能をもたらしています。業界が AI をどのように活用して変革を行っているかをより深く理解するために、NVIDIA は第 5 回目の年次調査レポート「金融サービスにおける AI の状況」を作成しました。本レポートは、世界の金融サービス専門家約 600 人を対象に、業界におけるアクセラレーテッド コンピューティング、AI、機械学習のトレンド、課題、機会について調査した結果に基づいています。

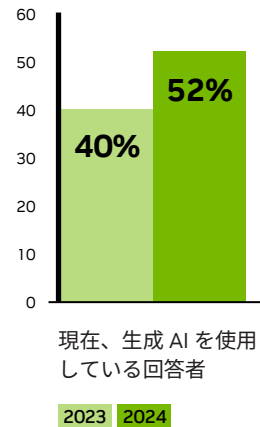
最新の調査結果では、生成 AI が極めて重要なテクノロジーとして際立っていることが示されています。昨年の調査からの勢いは続き、回答者の半数以上が現在、生成 AI を使用しており、これは昨年の 40% から増加しています。生成 AI は、さまざまな入力情報に基づいて、テキスト、画像、3D モデル、ビデオなど、新しいコンテンツを迅速に生成します。このテクノロジーは、既存のアプリケーションを強化するだけでなく、金融サービス業界全体で革新的なサービスとソリューションの創出を推進しています。

### 戦略的インフラストラクチャと投資

競合他社と差別化するために、銀行や金融サービス企業は、引受業務の改善、顧客体験の向上、リスクの軽減、ポートフォリオ収益の最大化を目的として、引き続き AI への大規模な投資を行っています。調査結果では、AI 投資の大部分がコンピューティング インフラストラクチャ向けになることが明らかになっています。これらのインフラストラクチャへの投資により、企業は AI ファクトリーを構築できます。これは、大量のデータを処理、価値のある AI モデルやトークンに変換するために特別に構築されたアクセラレーテッド コンピューティング プラットフォームです。金融サービス企業は、これらの機能を活用して業務の効率を向上させ、サービスを強化して競争優位性を確立することができます。

今年度の調査結果で、AI による大きな影響が浮き彫りになりました。

- AI インフラストラクチャへの投資は著しく増加しており、**98% の経営陣**が 2025 年に支出をさらに増加させると述べています。
- **半数以上の企業**が現在、AI を将来の成功に不可欠なものと捉えており、戦略的なビジネスの推進力として AI への依存度が高まっていることを示しています。
- AI に関する課題は減少傾向にあり、**AI 予算の不足を報告する回答者数が 50% 減少**したほか、AI データの問題を報告する企業数が大幅に減少しています。



オンライン決済の大手プラットフォームである PayPal は、より効率的なデータ処理と分析のためにアクセラレーテッド コンピューティングを導入し、AI インフラストラクチャを更新してクラウドコストを最大 70%、実行時間を 35% 削減しました。

## 業界におけるインサイトと将来の展望

2025 年の見通しでは、取引、銀行業務、決済、金融サービス、フィンテック分野で AI の役割 (業務効率の向上から新しいビジネスモデルや収益源の確保まで) が拡大することが明らかになっています。金融機関は、顧客体験とサイバーセキュリティの向上に重点を置くだけでなく、AI 主導の環境、社会、ガバナンス (ESG) 分野と持続可能な金融イニシアチブの大幅な増加に示されるように、持続可能な慣行への取り組みもますます進んでいます。

今年度の調査結果の分析では、4 つの重要な結果が明らかになっています：

- **AI ユースケースの成熟:** 企業は評価対象の生成 AI ユースケースの数を継続的に増加させていますが、いくつかの主要なユースケースの普及率は、AI の評価と活用が成熟していることを示しています。
- **データ分析と生成 AI の優位性:** データ分析は依然としてトップのワークロードであり、生成 AI は大幅な成長を示し、2 番目に活用されているワークロードになっています。
- **変革的な AI の影響:** 回答者の大部分は、AI と生成 AI がさまざまなビジネス機能間での統合を強化し、変革をもたらすものであると考えています。
- **AI の利点の多様化:** 回答者の 3 分の 1 以上が、業務の効率化を AI の最大の利点として挙げ、競争優位性と新たなビジネス機会の創出も主要な利点として認識されています。

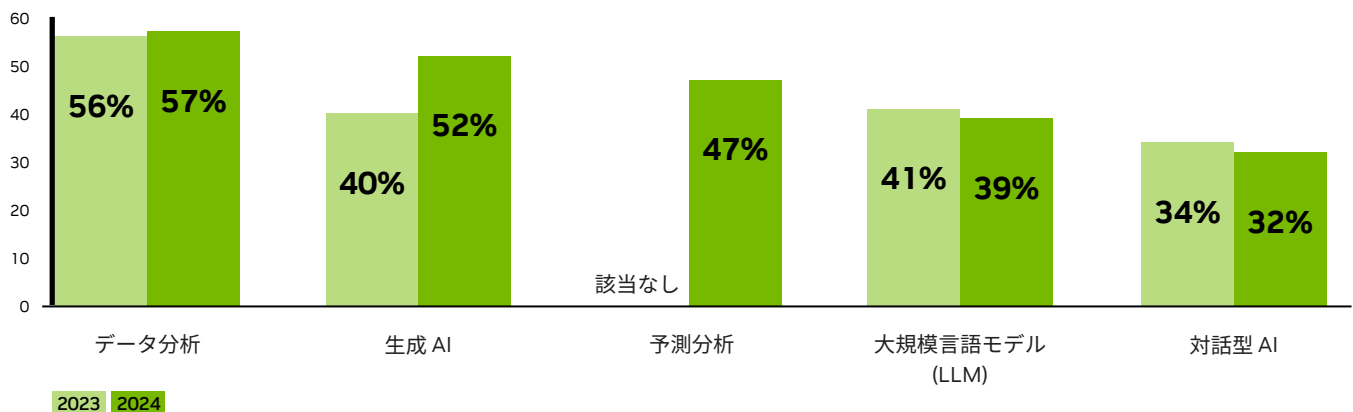
業界が AI を採用するにつれて、エネルギー効率の高いコンピューティングと信頼できる AI の開発を進め、倫理的かつ持続可能な方法で AI の潜在能力を引き出す必要もあります。

## AI の活用は戦略的ユースケースの展開へとつながる

過去 12 か月間、金融サービス企業は、いくつかのコア アプリケーションを中心に AI の取り組みを統合してきました。これは、AI の調査から、価値の高い戦略的なユースケースの展開を成功させることに焦点が移ったことを示しています。

データ分析は依然として主要の AI ワークロードであり、企業はこのテクノロジーを活用して、大量のデータを活用して不正行為の検知、サービスのパーソナライズ、市場トレンドの予測、投資リスクの管理を改善しています。生成 AI は前年比で最も大幅な成長を遂げ、2 番目に人気のあるワークロードとして浮上し、回答者の 50% 以上がこのテクノロジーを使用または評価しています。

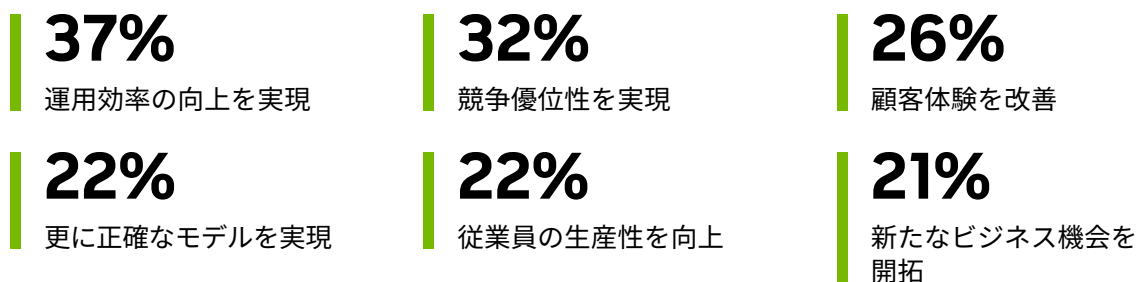
会社が使用したり、評価したりしている AI や機械学習のワークロードは何か? (該当するものをすべて選択してください)



経営レベルの回答者の 41% が、現在、AI と生成 AI を組織内の変革の原動力として認識しています。金融機関では、リスクとコンプライアンス、マーケティング、販売、サイバーセキュリティ、運用における AI の使用が大幅に増加し、ビジネス全体で AI を統合しています。

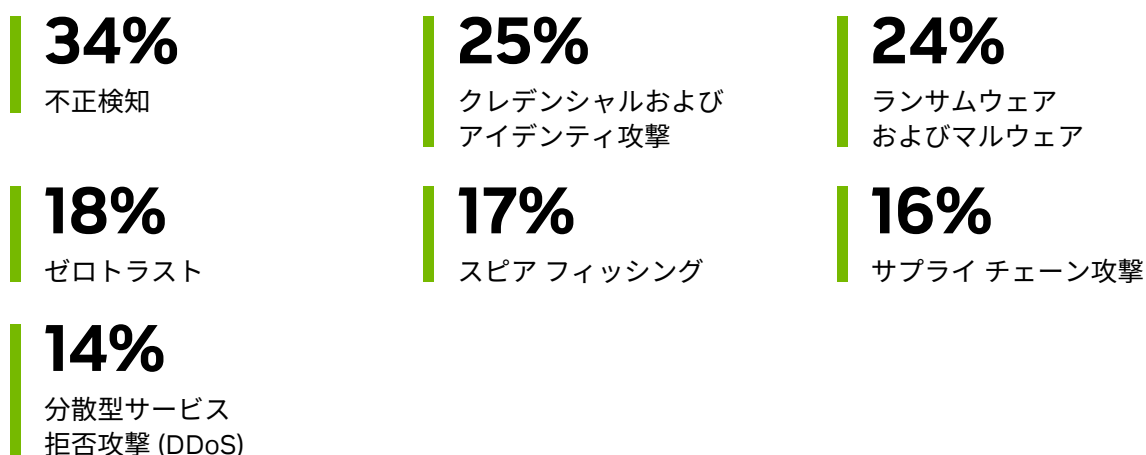
AI がビジネスにもたらす利点は多様化しています。業務の効率化を挙げる企業は、前年と比較してわずかに減少していますが、従業員の生産性や新しいビジネス機会など、その他の分野では大幅な増加が見られています。この多様化は、AI の役割の変化を示しており、効率化のためのツールから包括的なビジネス変革の触媒へと進化しています。

AI はビジネスをどのように改善しましたか。(2 つまで選択してください)



20 を超えるユース ケースのうち、サイバーセキュリティは前年比で最も高い成長率を記録し、回答者の 3 分の 1 以上がサイバーセキュリティ向けの AI を現在評価中または投資を行っています。スピア フィッシング攻撃に対処するために AI を使用する予定であると回答した人の数は 7% から 17% に倍増し、サイバー脅威の状況が変化していることを示しています。同様に、サプライチェーンへの攻撃や分散型サービス拒否攻撃 (DDoS) インシデントに対処するための AI の使用が増加しており、これらの脅威に対する認識が高まり、積極的な対策が取られていることを示しています。

組織内で AI が対応している (または対応予定の) サイバーセキュリティの課題はどれですか。(上位 2 つを選択してください)



全体として、企業は最も戦略的な AI ユース ケースを絞り込んで実装し、変化する課題に対してより回復力を高めるために AI を活用しています。

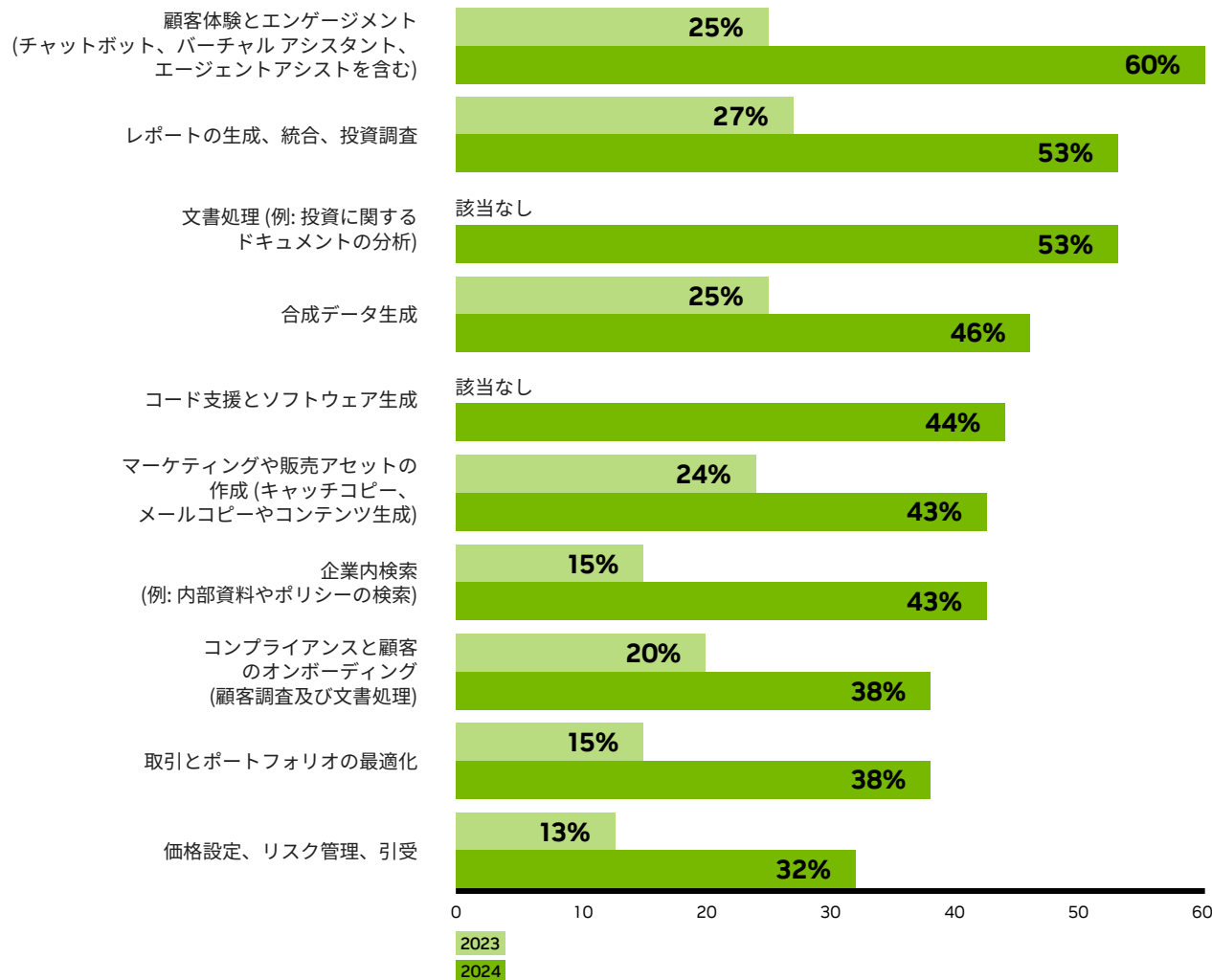
# 生成 AI が業界の変革を推進

昨年の高い関心が今年も継続し、生成 AI ワークロードは前年比で最大の成長を遂げ、現在はデータ分析に次いで 2 番目に活用されているワークロードになっています。経営陣の回答者の半数が、最初の生成 AI サービスまたはアプリケーションを既に展開済みであることを示し、さらに 28% が今後 6 か月以内に展開を計画しています。NVIDIA の専門家によると、ドメイン適応型事前トレーニングなどの技術やファインチューニング、検索拡張生成 (RAG) といった手法は、現在、オープンソースの基盤モデルと組み合わせて活用されており、生成 AI 開発の原動力となっています。これにより、企業情報の保護と精度の向上が実現します。

生成 AI アプリケーション、特に自動化とデータ取得によってタスクの効率と精度を高めるように設計された AI エージェントの使用と評価が大幅に増加しています。

## 主な生成 AI ユース ケース

御社ではどのようなユース ケースに生成 AI / LLM を使用中または評価中ですか。(該当するものをすべて選択してください)



顧客体験向上とレポート生成は、生成 AI の最も一般的なユースケースとして報告されており、顧客体験向上を選択する回答者の割合は前年比で倍増しています。その可用性、コスト効率、拡張性を考慮すると、顧客体験における AI エージェントの人気の上昇は今後も続くと考えられます。同時に、デジタル アバターとデジタル ヒューマン技術は継続的に改善され、展開が容易になっています。[NVIDIA Blueprint](#) は、約 20 の AI モデルを簡素化された API にまとめ、組織が独自のデータでトレーニングされたデジタル アシスタント テクノロジーを展開できるようにします。

文書処理用の生成 AI エージェントは、2024 年に初めて調査対象となり、53% の導入率を達成しました。金融サービス企業が機密情報を危険にさらすことなくモデルや戦略をテストするのに特に役立つ合成データの生成は、25% から 46% に増加しました。金融サービス企業は、合成データを使用して、不正検知と身元確認モデルのトレーニングを行い、新しい脅威ベクトルや不正パターンを認識しています。コード支援およびソフトウェア生成エージェントの使用は、この最初の測定年で 44% と記録されました。これは、非効率な作業を排除するか、新しい収益源を創出することで、明確な投資収益率を実現できるテクノロジーであれば、新しいユースケースがいかに迅速に受け入れられるかを示しています。

導入済みの生成 AI ユースケースのうち、回答者の 25% が、AI ベースの取引とポートフォリオの最適化において最高の投資収益率を実現したと報告しています。さらに 21% が顧客体験とエンゲージメントで最高水準の投資収益率を得たと報告し、11% がレポート生成と文書処理の両方で最高水準の投資収益率を実現したと報告しています。

投資収益率の観点から見て、主要な生成 AI ユースケースはどれですか。

25%

取引とポートフォリオの最適化

21%

顧客体験とエンゲージメント

11%

ドキュメント処理

11%

レポート生成

経営陣の回答者の半数が、最初の生成 AI サービスまたはアプリケーションを既に導入済みであると回答し、さらに 28% が今後 6 か月以内に導入を計画しています。

nvidia / Build an AI Virtual Assistant

Create intelligent virtual assistants for customer service across every industry

LLAMA-3.1-70B-INSTRUCT • NV-RERANKQA-MISTRAL-4B-V3 • NV-EMBEDQA-E5-V5

agent blueprint blueprint customer service retrieval-augmented generation nvidia ai

View Source Code

Deploy Launchable

NVIDIA Blueprint は、事前定義されたカスタマイズ可能な AI ワークフローであり、開発者の生成 AI アプリケーションの作成と展開を支援するように設計されています。

詳細を見る: NVIDIA Blueprints について [build.nvidia.com/blueprints](https://build.nvidia.com/blueprints)

AI バーチャルアシスタントを構築

金融サービスにおけるインテリジェントなバーチャル アシスタントは、従来のチャットボットソリューションよりも正確でパーソナライズされた高度な対応を提供することで、顧客体験がまったく新しくなります。

金融文書処理のためのマルチモーダル PDF データ抽出

生成 AI を活用したインテリジェントな文書処理により、金融機関は非構造化データからのインサイトの収集によって、迅速な意思決定を可能にし、財務上の損失リスクを軽減できます。

## AI が金融サービス企業の業績を牽引

業界リーダーの主な目標は、AI を活用して収益を増加させ、コストを削減することです。ほぼすべての調査回答者が、AI には投資収益率向上の効果があると考えており、特に経営陣は楽観的な傾向にあります。経営レベルの回答者の 80% 以上が、AI 投資に対する利益率が 2 倍以上と予測しており、AI および AI による財務的メリットの実現に対する信頼が高まっていることを示しています。

AI は、引き続き収益の増加とコスト削減に貢献しています。回答者の約 70% が、AI によって 5% 以上収益が増加したと述べ、76% のマネージャーがこのような増加を報告しています。10~20% 収益が増加したと報告する企業は、2023 年の 0% から 2024 年の 16% へと劇的に増加しました。さらに、60% 以上の回答者が、AI によって 5% 以上年間コストを削減できたと述べています。

AI は収益をどの程度増加させましたか。

| 回答者   | 29%   | 16%    | 23%    |
|-------|-------|--------|--------|
| 収益の増加 | 5~10% | 10~20% | 20% 以上 |

AI は年間コストをどの程度削減しましたか。

| 回答者      | 35%   | 17%    | 12%    |
|----------|-------|--------|--------|
| 年間コストの削減 | 5~10% | 10~20% | 20% 以上 |

これらの結果は、AI がビジネス パフォーマンスに与える大きな影響を裏付け、収益の成長と経費の削減の両方を促進する可能性を示しています。

## AI への投資は衰えず

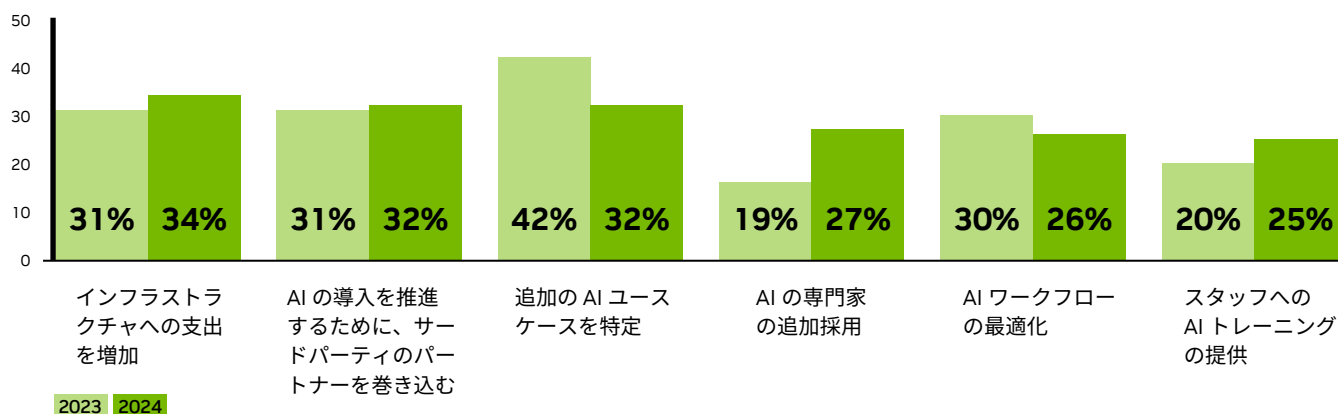
40% の企業が前年と比較して AI インフラストラクチャへの投資の増加を報告し、98% の経営陣が、2025 年に AI インフラストラクチャへの投資をさらに増加させると述べています。

このような AI インフラストラクチャへの投資は、企業がフルスタックのアクセラレーテッド コンピューティングを備えた AI ファクトリーの構築に着手し、AI の検討段階から展開への移行を支援し、組織全体で AI の導入を推進させていることを示しています。AI ファクトリーへのインフラストラクチャ投資は、企業がエージェント AI を活用する体制を整えることにもつながります。エージェント AI は、さまざまなソースから取得した大量のデータを活用し、高度な推論を使用して複雑な複数ステップの問題を自律的に解決するシステムです。銀行や投資会社には、パーソナライズされた財務計画のアドバイスを提供するチャットボット、自動化されたリスク評価エージェント、リアルタイムの不正検知など、エージェント AI の潜在的な用途は数多くあります。

「アクセラレーテッド コンピューティングは、ビッグ データの洞察に基づいて、より迅速でパーソナライズされた顧客体験を実現することで、金融サービスに革命をもたらしています」

**Rutger van Faassen**  
フィンテック インフルエンサー、創業者兼 CEO  
Informationbanker

今後、12 ヶ月間で、AI テクノロジーにどのように投資する予定ですか。  
(2 つまで選択してください)



人材の獲得は、AI 投資の重要な分野となっています。AI の専門家の雇用において、前年比で 42% 支出が増加しています。一方、回答者の 4 分の 1 が、現在の従業員に AI に関するトレーニングを行うとしています。高度な訓練を受けた AI の専門家は、最先端のツールを備えた職場環境を求めているため、インフラストラクチャへの支出と人材の獲得への支出は、相互に補完的なものであることが証明されています。これは、アクセラレーテッドコンピューティングを使用して構築された AI ファクトリーに投資する企業にとって、データサイエンティストがより高度で正確なモデルをより迅速にトレーニングし、展開できるようになるという点でウィンウィンとなります。

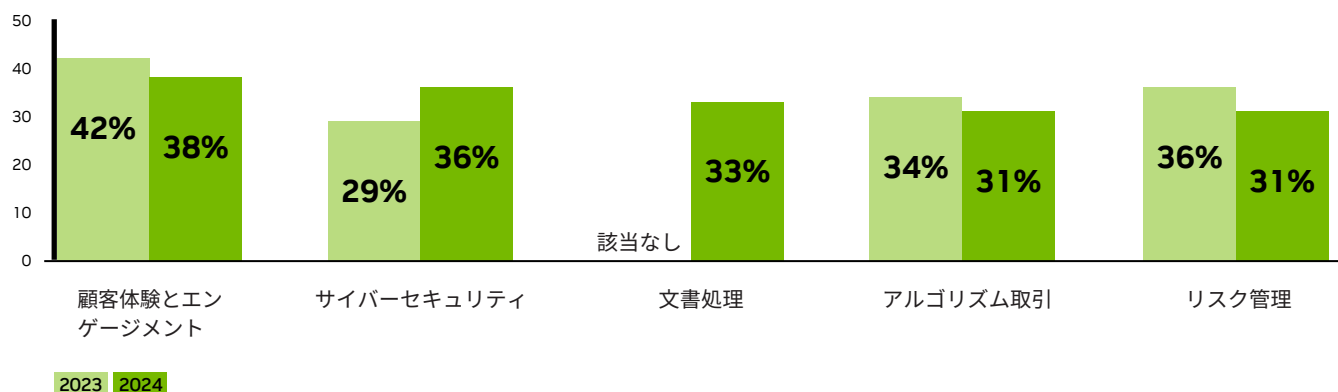
AI 支出のその他の分野には、AI の導入を推進するサードパーティのパートナーの参加、AI ワークフローの最適化、追加のユースケースの特定などがあります。しかし、新しい AI データセットの特定に向けた取り組みは 23% 減少しています。これは調査段階から展開への移行、あるいは有望なアプリケーションが飽和状態にあることを示しています。

評価または投資の観点で重要な AI ユースケースでは報告された投資額がわずかに減少していますが、顧客体験とエンゲージメントは依然として優先されています。サイバーセキュリティは、前年比で 36% という最も大幅な増加を記録し、デジタル脅威への懸念の高まりを反映しています。文書処理。アルゴリズム取引、リスク管理も、依然として重要なユースケースです。

「アクセラレーテッドコンピューティングにより、金融サービス企業は、不正行為の検知やコンプライアンスなどの主要な分野で営業利益率を向上させることが可能になります。また、リスク管理、信用分析、ポートフォリオ管理における意思決定の改善も実現します」

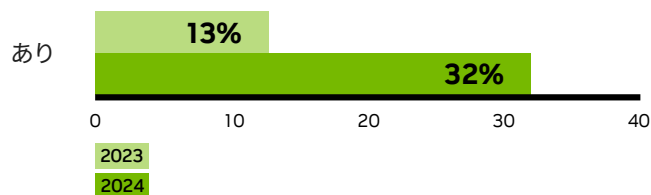
Efi Pylarinou  
フィンテックの  
インフルエンサー

AI のユースケースで評価中または投資しているものは何ですか。



ESG と持続可能な金融の分野では、パイロット システムから実稼働システムへの顕著な移行が見られ、実稼働システムへの移行を達成している企業の数が倍以上になっています。この変化は、持続可能な金融イニシアチブにおける AI の成熟と統合が進んでいることを明らかにしています。

**ESG と持続可能な金融の分野で、AI と機械学習の取り組みを本番稼働へと進めていますか。**

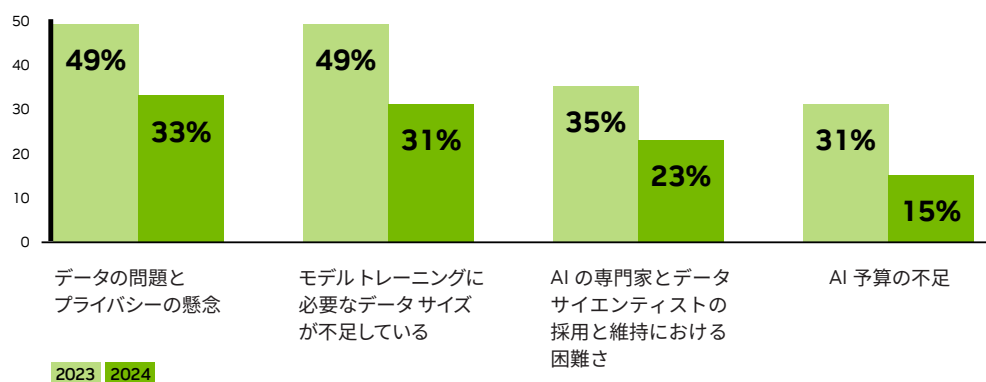


最後に、信頼性が高く、安全で、説明可能な AI への取り組みが顕著に増加しています。AI/ML ガバナンスフレームワークのパイロットシステムを導入した企業の割合は 21% から 36% に増加しました。厳しい規制と金融データの機密性により、金融機関は、倫理的および法的基準に沿った信頼できる AI の開発を優先しています。

## AI の課題は減少傾向

今年度の調査データによると、企業が過去数年間に直面した AI の課題の多くは、横ばいまたは減少しており、評価とテストの段階から導入を成功させる段階に移行していることを示しています。

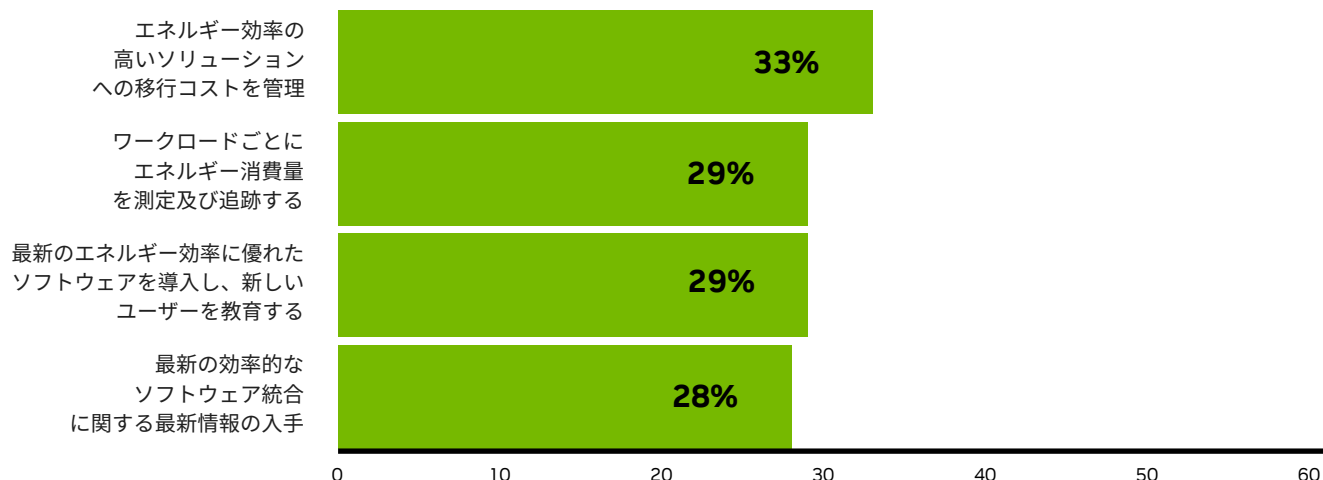
前年と比較して、AI の評価と調査の初期段階に関連する問題を報告した企業は減少しています。データの問題やプライバシーに関する懸念、モデルトレーニングに必要なデータの不足、人材確保の難しさ、予算の不足を報告する企業も少なくなっています。



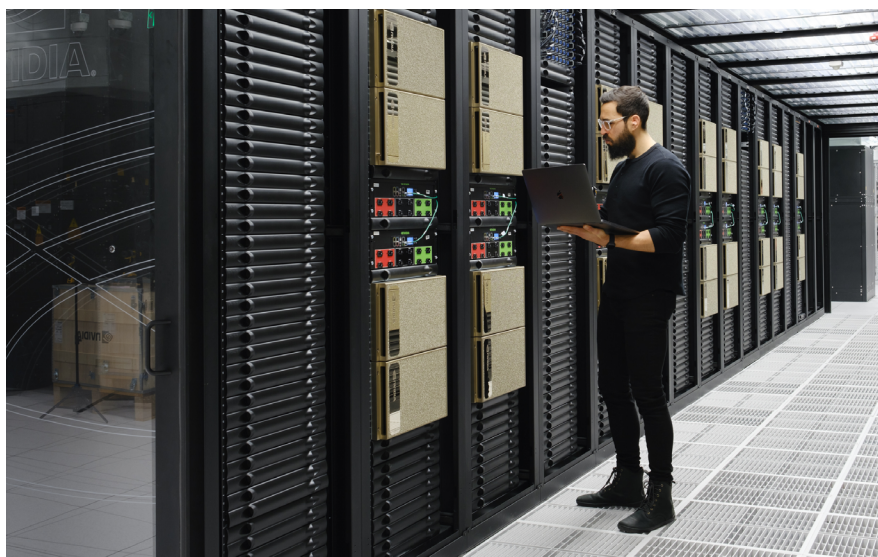
これらの改善は、企業が AI 実装の基本的な課題をより上手に管理できるようになりつつある、成熟した AI 環境を反映しています。

もちろん、すべての課題が克服されたわけではありません。企業が AI の取り組みを進め、より多くのコンピューティング能力を活用するにつれて、エネルギーに関する懸念が新たに生まれています。

### 最も困難であると感じているエネルギー効率の高いコンピューティングの分野は何ですか。(2 つまで選択してください)



エネルギーの課題に対処するために、企業は、ソフトウェアの最適化によるサーバーとデータセンターの実行時間の短縮、電力使用効率 (PUE) が改善されているクラウド サービスの利用、GPU などのエネルギー効率の高いハードウェアへの移行など、積極的な対策を講じています。



STAC-A2 ベンチマークは、デリバティブの市場リスクを分析するテクノロジースタックのパフォーマンス、拡張性、品質、リソース効率を測定するために、分析者や技術者が設計したものです。

STAC-A2 オプション価格設定ベンチマークをテストしたところ、NVIDIA GPU は、CPU のみのシステムと比較して、同じワークロードに対して 16 倍の速度と 3 倍のエネルギー効率を達成しました。

## 今後の展望: AI の可能性と期待されるもの

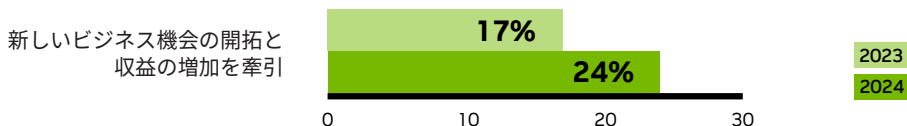
金融サービス企業が、AI を活用した環境へと前進する中で、ビジネス戦略の策定と運用における AI の役割は、拡大し続けています。銀行、資産運用会社、決済会社、保険会社は、マネーロンダリング防止や顧客確認 (AML/KYC) の取り組みにおける本人確認の改善、不正取引の誤検出の削減、市場収益の向上に向けた新しい取引戦略の策定、資金調達サイクルの短縮に向けた文書管理の自動化など、さまざまなユースケースのために数百もの AI 対応アプリケーションを構築しています。

経営陣は、戦略的な AI の取り組みをますます支持しており、経営幹部の約 60% が、ビジネスの成功を推進する AI の価値を認識しています。AI の恩恵を最大限に活用するために、銀行や金融業界のリーダーは、AI への投資と人材の獲得により多くのリソースを投入しています。

競争上の優位性の創出、顧客体験や従業員の生産性の向上のために AI を活用する方向へと顕著な変化が見られます。企業がコスト削減だけでなく、変革と成長の触媒として AI を活用しようと努める中で、これらの分野に対する注目が高まっています。

最も重要な傾向の 1 つは、新しいビジネス機会の開拓と収益の増加を牽引することです。前年比で 17% から 24% に増加しています。これは、AI を通じた収益を創出する活動と、新しい市場の開拓に向けた戦略的な再編を示唆しています。

### AI に関連する主な目標は何ですか。



最後に、調査データによると、生成 AI の勢いが増しており、回答者の半数以上が、現在このテクノロジーを使用しています。

NVIDIA は、生成 AI の次の展開は、エージェント型 AI になると予想しています。金融機関は、サイバーセキュリティの脅威の検知、顧客サービス、投資分析の迅速化などのタスクに高度な自律型 AI エージェントを使用するようになるでしょう。AI ファクトリーにより、金融サービス企業は独自のデータに基づいて AI アプリケーションを構築して顧客に最適な、最もパーソナライズ化された銀行および投資ソリューションを提供できるでしょう。

今年度の報告書の調査結果は、金融セクターで AI の重要性が高まっていることを浮き彫りにしています。さらに AI をイノベーションの礎であり、戦略的なビジネス目標を達成するための重要なツールと位置付けています。

## 詳細はこちら

主要な金融機関による AI と生成 AI の活用方法についての詳細は、以下をご覧ください。 [nvidia.com/ja-jp/industries/finance](https://nvidia.com/ja-jp/industries/finance)

# 60%

の経営幹部のリーダーシップは、ビジネスの成功を推進する AI の価値を認識しています。